

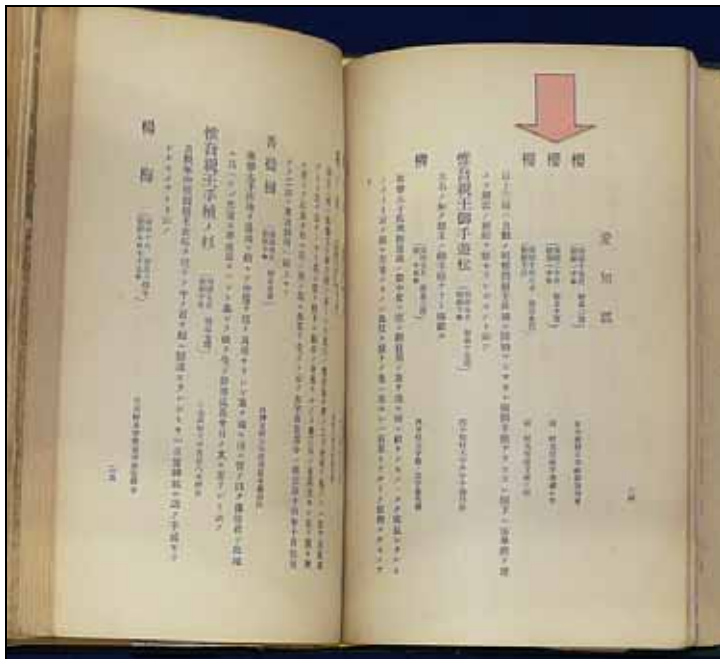
展示「花を愛でる - 滋賀県の桜と自然 - 」

平成21年3月11日～4月14日



「伊香郡木之本村 明楽寺 境内図」

明治28年(1895年)

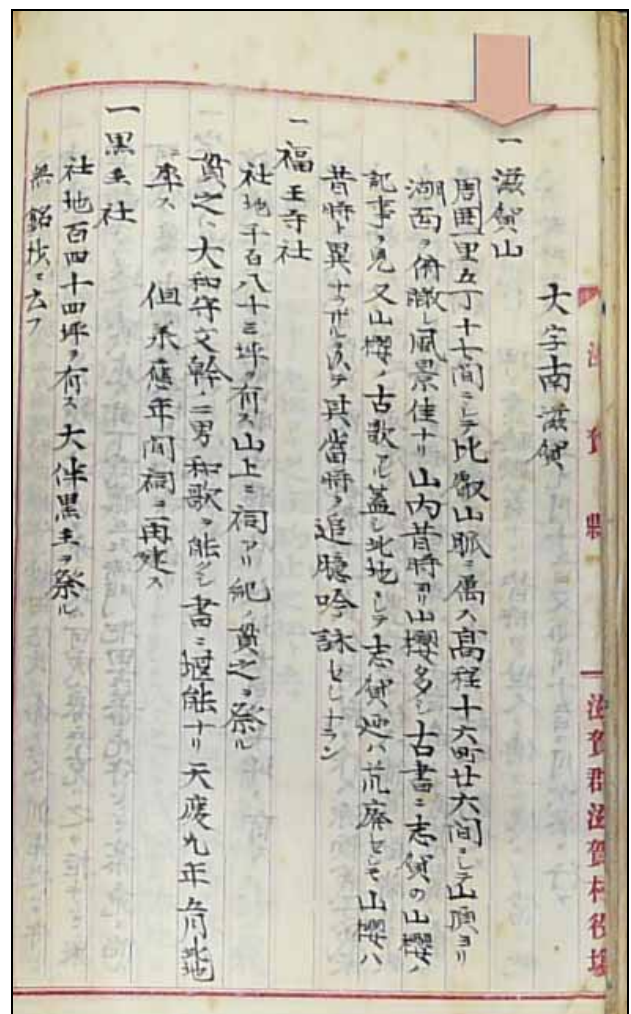


『近江名木誌』

大正2年(1913年)

県の刊行物。「愛樹の念」を深めるための教育資料とうたわれている。

愛知郡では、木地師の祖とされるこれたかしんのう惟喬親王の御手植えの桜や松、杉、聖徳太子由来の「花の木」などが列記されている。御手植えの桜の一本は、周囲20尺(約6m)、樹高10間(約18m)、樹齡1千年とある。



「史跡名勝天然記念物に関する件回答」
昭和2年(1927年)

滋賀村長が県に出した調査報告。大宇南滋賀の滋賀山の項には、志賀廻り(滋賀の山越)は荒廃したが山桜は昔と変わらないと書かれている。滋賀の山越は、北陸から京都に入る重要路の一つで『近江名所図会』(文化11年(1814年))に「桜花多し」とされている。

町村名	事業、種類	成績、概要
長濱町	植樹 資料高等女学校設置	四十四年四月より開始あり 公園内に櫻樹三百本ヲ植栽せり 本町に中興堂月行卿ノ墳墓あり其境内に五十五本を植栽し杉樹 櫻樹等五百本ヲ植栽シタリ 一五多植樹院於本町原田ニ資料用樹ノ植栽ニ着手し本年夏 ニ於テ植栽ス 一敷田に植栽シタル杉ノ中より一枚ヲ採りて之を以て植栽ニ 用ス 一敷田に植栽シタル杉ノ中より一枚ヲ採りて之を以て植栽ニ 用ス
柏原村	学林設置	学校紀念碑トシテ、二十五年度、於之ニ所立奉り茲に 四十二年十月廿日合式ノ祭ヲ
春照村	青年會組織	本年二十五年は、青年會組織ニ着手し、植栽ニ力ヲ注ぎ、 其の成績として、植栽ノ樹木、計、五百本、植栽シ、 其の成績として、植栽ノ樹木、計、五百本、植栽シ、 其の成績として、植栽ノ樹木、計、五百本、植栽シ、
伊吹村	修道會設立	本年二十五年は、修道會組織ニ着手し、植栽ニ力ヲ注ぎ、 其の成績として、植栽ノ樹木、計、五百本、植栽シ、 其の成績として、植栽ノ樹木、計、五百本、植栽シ、 其の成績として、植栽ノ樹木、計、五百本、植栽シ、
大原村	果樹植栽	本年二十五年は、果樹植栽ニ着手し、植栽ニ力ヲ注ぎ、 其の成績として、植栽ノ樹木、計、五百本、植栽シ、 其の成績として、植栽ノ樹木、計、五百本、植栽シ、 其の成績として、植栽ノ樹木、計、五百本、植栽シ、
東黒田村	貯蓄組合設立 学林設置	本年二十五年は、貯蓄組合組織ニ着手し、植栽ニ力ヲ注ぎ、 其の成績として、植栽ノ樹木、計、五百本、植栽シ、 其の成績として、植栽ノ樹木、計、五百本、植栽シ、 其の成績として、植栽ノ樹木、計、五百本、植栽シ、

「行啓紀念事業成績概要」

明治 45 年 (1912 年)

皇太子 (後の大正天皇) の来県を記念して各町村が行った事業の報告。

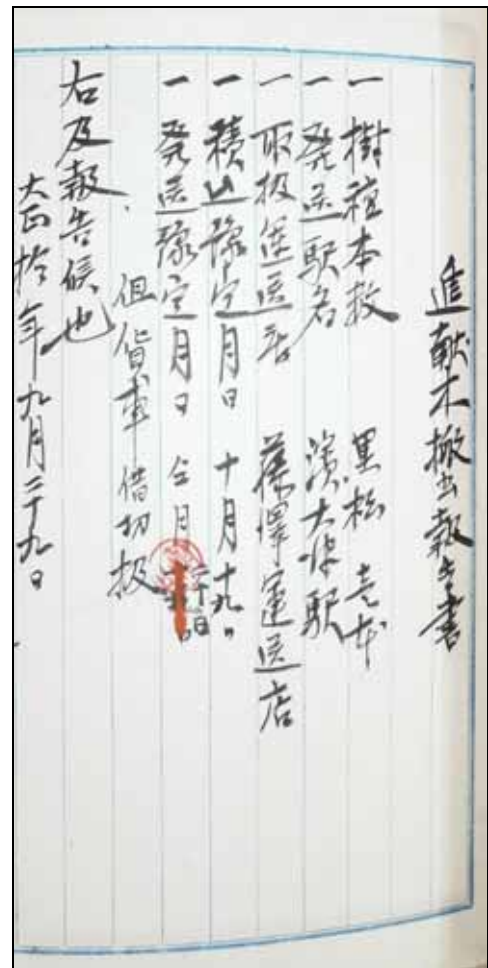
長浜町では、桜 300 本の植樹が公園で行われている。現在はソメイヨシノを中心に 800 本の桜が咲く桜の名所、^{ほうこうえん} 豊公園の始まりである。

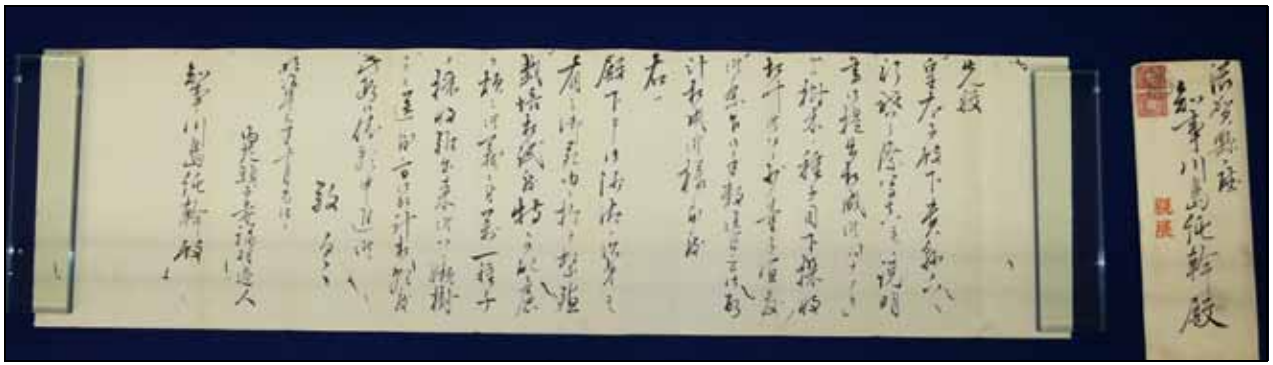
『進献木関係書類』

大正 6 年 (1917 年) ~

大正 4 年 (1915 年) に創建が発表された明治神宮には、全国から 10 万本以上もの献木が運び込まれ、県でも村や学校、また個人から多くの樹木が送られた。

唐崎の松の孫木は大正 10 年 (1921 年) に大津市の個人から献木されている。松は借り切り扱いの貨車で浜大津駅から東京まで送られた。

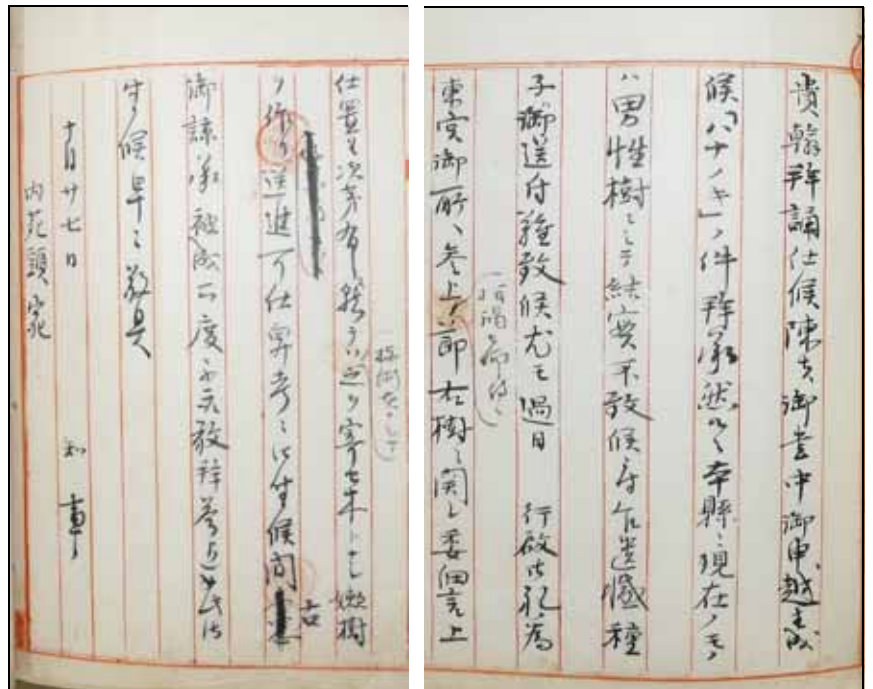




「『ハナノキ』の種子採集依頼の書状」(上)と「知事からの回答文」(右下)
 明治 43 年(1910 年)

来県時に皇太子がご覧になったハナノキ(花の木)の種子を所望する書簡。宮内省内苑寮の内苑頭、福羽逸人^{ふくばはやと}から送られている。福羽は、新宿植物御苑で果樹や植物の研究に尽力した農学者である。

それに対し、県のハナノキは雄株であり結実しないため、種子は送れないと回答している。



「花の木の葉と果実」

『滋賀県天然記念物調査報告』 大正 13 年(1924 年)

○鼠李科 けんぼなし、
 ○無患樹科 もくけんじゆ、
 ○七葉樹科 もみぢ、やまもみぢ、
 ○衛矛科 つりばな、まゆみ、
 ○冬青科 そよご、くろがねもち、くろそよご、たらえふ、
 ○漆樹科 めるで、やまうるし、
 ○水馬齒科 あはこけ、
 ○大戟科 あかめがしほ、こみかんさう、ゆづりは、たうだい
 ぐさ、なつたらだい、にしきさう、
 ○楸科 あふぢ、
 ○芸香科 からすさんせう、まつかぜさう、せんせう
 ○酢醬草科 かたばみ、
 ○牻牛兒苗科 ふくろさう、こふうろ、
 ○荳科 しろつめくさ、むらさきつめくさ、かすまぐさ、くさ
 ねむ、くす、からすのみんだう、ぬすびさぎ、みやこ
 ぐさ、ふぢ、ねこばぎ、めさばぎ、ばぎ、ねむのき、やは
 すのみんだう、やぶまめ、たんきりまめ、やぶさ、げ、
 うめ、きんみつひき、かなめもち、くさほげ、かはら
 さいご、びば、ふゆいちご、へびいちご、をへびい
 ちご、やまざくら、うはみづざくら、ひらせいちご、



「彦根城山」写真

『滋賀県天然記念物調査報告』

大正 13 年 (1924 年)

天然記念物保存の目的で調査された報告。彦根城山の植生が 4 頁にわたって記されている。「城山一帯の主なる草木」として 109 科、379 の植物名があげられ、その中に「やまざくら」、「うはみづざくら(上溝桜)」がある



「明治神宮御苑内の唐崎の孫松」

大正 10 年(1921 年)

滋賀県から奉納された「唐崎の松」の孫松は、明治神宮御苑内の池のほとりに植えられた。展示は文書に貼り付けられた新聞の複製。